



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月31日

上場会社名 三和ホールディングス株式会社
コード番号 5929 URL <https://www.sanwa-hldgs.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高山 靖司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 藤井 克巳
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3346-3019

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	435,472	4.4	41,153	16.2	40,578	22.9	31,451	38.1
2023年3月期第3四半期	416,926	27.4	35,425	85.0	33,006	79.6	22,771	94.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 52,573百万円 (7.5%) 2023年3月期第3四半期 48,917百万円 (198.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	142.36	142.02
2023年3月期第3四半期	103.04	102.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	487,839	279,156	56.8
2023年3月期	442,274	242,350	54.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 277,277百万円 2023年3月期 240,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		25.00		33.00	58.00
2024年3月期(予想)		29.00		29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600,000	2.0	60,000	6.6	59,000	11.8	40,000	20.9	180.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	231,000,000 株	2023年3月期	231,000,000 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	10,964,547 株	2023年3月期	9,985,209 株
------------	--------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	220,927,065 株	2023年3月期3Q	220,987,015 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

本資料の予測には、発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれており、実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取巻く外部環境は、高インフレーションの継続と各国での金利高止まり、長期化するウクライナ情勢によるエネルギーコストの上昇、中国経済の先行き不安に加え、中東情勢が緊迫化するなど先行き不透明な状況が続きました。

このような環境下、当社グループは、「三和グローバルビジョン2030」及び「中期経営計画2024」の2年目をスタートし、気候変動やデジタル化で変化する社会のニーズに応える高機能開口部ソリューションのグローバルリーダーへ向けた基盤の確立に注力し、基本戦略を実行しました。基本戦略の「日・米・欧のコア事業の強化、領域拡大」では、引き続きシャッター、ドアの基幹商品、間仕切等の戦略商品のシェア増加、メンテ・サービス事業の拡大、事業拡大に向けた体制強化に努めました。「防災・環境対応製品の拡充と製品・サービスのスマート化推進」では、高い耐風圧性能800Paを実現した軽量シャッター「耐風ガードLS」、断熱性能と高速開閉を両立したRe-carboシリーズ「断熱クイックセーバーTR」、浸水高さ3mで24時間継続して防水性能を維持する「Sタイトドア（スチール仕様）」等、製品の防災・環境対応とスマート化に努めました。「アジア事業の成長力強化」では、新たに三和上海、三和NF常熟、AUBを連結範囲に加え、事業基盤強化に注力しました。「サステナビリティ経営の推進」では、国際社会における人権に対する意識や課題の変化を踏まえ、新たに三和グループ人権方針を制定しました。また、各地域の工場（九州、イギリス、イタリア、スペイン、中国）に太陽光パネルを新設し、CO2排出量削減に取り組みました。

セグメント別の概況は、日本では、売価転嫁による収益性の確保に努めるとともに、工場施設や大型再開発案件を中心に重量シャッター、ビルマンションドア等の基幹商品、間仕切等の戦略商品、メンテ・サービス事業が堅調に推移しました。北米では、住宅向け市場が落ち込む中、ドックレベラー等品揃えの拡充に加え、売価維持と生産性改善、コスト削減に努めました。欧州では、エネルギー価格等の各種コストの上昇に加え、景気減速に伴う市場環境の悪化もあり厳しい状況が続きました。アジアでは、新規連結効果もあり増収増益を確保しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期比4.4%増の435,472百万円となりました。利益面では、営業利益は、前年同四半期比16.2%増の41,153百万円、経常利益は、前年同四半期比22.9%増の40,578百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比38.1%増の31,451百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<日本>

売上高は、前年同四半期比6.8%増の183,014百万円、利益に関しましては、前年同四半期比22.0%増の14,929百万円のセグメント利益となりました。

<北米>

売上高は、前年同四半期比0.3%増の160,940百万円（外貨ベースでは6.9%減）、利益に関しましては、前年同四半期比15.5%増の24,647百万円のセグメント利益となりました。

<欧州>

売上高は、前年同四半期比5.3%増の81,928百万円（外貨ベースでは4.9%減）、利益に関しましては、前年同四半期比27.5%減の2,365百万円のセグメント利益となりました。

<アジア>

売上高は、前年同四半期比30.5%増の9,540百万円、利益に関しましては、前年同四半期比6.0%増の208百万円のセグメント利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、主に棚卸資産や固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ45,564百万円増加し487,839百万円となりました。負債は、主に仕入債務やリース債務の増加等により、前連結会計年度末に比べ8,759百万円増加し208,683百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ36,805百万円増加し279,156百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.4ポイント増加し56.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月31日に公表致しました2024年3月期の連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,653	84,832
受取手形、売掛金及び契約資産	113,909	106,481
電子記録債権	14,324	16,751
有価証券	8,600	12,876
商品及び製品	20,301	22,860
仕掛品	14,198	23,239
原材料	45,923	47,705
その他	8,567	10,554
貸倒引当金	△4,061	△4,076
流動資産合計	285,416	321,225
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	25,100	27,212
土地	20,900	21,435
その他（純額）	37,363	44,550
有形固定資産合計	83,364	93,198
無形固定資産		
のれん	7,601	7,410
その他	19,483	20,969
無形固定資産合計	27,084	28,379
投資その他の資産		
投資有価証券	32,054	30,196
退職給付に係る資産	7,262	7,773
その他	7,674	7,895
貸倒引当金	△582	△829
投資その他の資産合計	46,408	45,036
固定資産合計	156,857	166,614
資産合計	442,274	487,839

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,962	70,242
短期借入金	9,895	8,233
1年内返済予定の長期借入金	8,541	1,216
未払法人税等	7,374	3,751
賞与引当金	11,147	8,676
その他	40,587	52,105
流動負債合計	144,508	144,226
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	10,816	17,465
役員退職慰労引当金	339	335
退職給付に係る負債	10,976	11,205
その他	13,282	15,450
固定負債合計	55,414	64,456
負債合計	199,923	208,683
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,737	39,765
利益剰余金	144,460	162,250
自己株式	△9,869	△12,015
株主資本合計	212,742	228,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,106	4,224
繰延ヘッジ損益	327	50
為替換算調整勘定	25,895	44,726
退職給付に係る調整累計額	△414	△138
その他の包括利益累計額合計	27,914	48,863
新株予約権	255	255
非支配株主持分	1,437	1,622
純資産合計	242,350	279,156
負債純資産合計	442,274	487,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	416,926	435,472
売上原価	291,473	297,240
売上総利益	125,452	138,232
販売費及び一般管理費	90,026	97,079
営業利益	35,425	41,153
営業外収益		
受取利息	83	749
受取配当金	395	502
為替差益	—	167
その他	257	251
営業外収益合計	736	1,672
営業外費用		
支払利息	361	839
為替差損	99	—
持分法による投資損失	353	82
訴訟関連費用	1,531	367
その他	810	957
営業外費用合計	3,156	2,246
経常利益	33,006	40,578
特別利益		
固定資産売却益	19	32
投資有価証券売却益	4	—
受取和解金	148	4,395
特別利益合計	172	4,427
特別損失		
固定資産除売却損	18	46
関係会社株式評価損	—	189
子会社事業再構築費用	41	25
関係会社整理損	1	—
特別損失合計	61	260
税金等調整前四半期純利益	33,117	44,746
法人税等	10,237	13,122
四半期純利益	22,880	31,624
非支配株主に帰属する四半期純利益	109	172
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,771	31,451

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	22,880	31,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	280	2,118
繰延ヘッジ損益	303	△276
為替換算調整勘定	24,778	19,026
退職給付に係る調整額	△45	276
持分法適用会社に対する持分相当額	719	△194
その他の包括利益合計	26,037	20,948
四半期包括利益	48,917	52,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,737	52,261
非支配株主に係る四半期包括利益	180	311

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、三和喜雅達(上海)投資有限公司、三和諾沃芬門業(常熟)有限公司、AUB Limited及びAUB(澳門)有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、Door Control, inc.を株式取得により、連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間において、三和ファサード・ラボ(株)は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(持分法適用の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、三和喜雅達(上海)投資有限公司、三和諾沃芬門業(常熟)有限公司、AUB Limited及びAUB(澳門)有限公司は重要性が増したため、持分法適用の範囲から除外し、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	171,370	160,381	77,814	7,312	416,879	47	416,926
セグメント間の内部 売上高又は振替高	104	149	58	1	314	△314	—
計	171,474	160,530	77,873	7,314	417,193	△266	416,926
セグメント利益	12,234	21,332	3,261	196	37,025	△1,599	35,425

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

(1) 売上高

- ・その他の売上高 47百万円
- ・セグメント間取引消去 △314百万円

(2) セグメント利益

- ・その他の利益 47百万円
- ・全社費用 △1,678百万円
- ・のれんの償却額 △2,051百万円
- ・その他の調整額 △335百万円
- ・セグメント間取引消去 2,417百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費などであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米……アメリカ、カナダ他

欧州……ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、イギリス他

アジア…中国、香港、台湾、ベトナム

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	183,014	160,940	81,928	9,540	435,425	47	435,472
セグメント間の内部 売上高又は振替高	109	76	40	136	362	△362	—
計	183,124	161,017	81,969	9,676	435,787	△315	435,472
セグメント利益	14,929	24,647	2,365	208	42,150	△997	41,153

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

(1) 売上高

- ・その他の売上高 47百万円
- ・セグメント間取引消去 △362百万円

(2) セグメント利益

- ・その他の利益 47百万円
- ・全社費用 △1,592百万円
- ・のれんの償却額 △1,974百万円
- ・その他の調整額 86百万円
- ・セグメント間取引消去 2,434百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費などであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米……アメリカ、カナダ他

欧州……ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、イギリス他

アジア…中国、香港、台湾、ベトナム

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。